



このコーナーは県出身者で各界で活躍しておられる方々を紹介するとともに、県政への提言などをお聞きするものです。



内田健三

ジャーナリストとして戦後政治の表裏を

自らの目で見てこられた内田健三氏にご登場願いました。

共同通信論説委員長を退かれた後も、

政治評論家、NHK解説委員、熊日客員論説委員として活躍されています。その一方で、ナマの政治を学問の場に伝えたいとして、大学での講義にも力を注がれています。多忙のなか、時間を割いていただきましたが穏やかな話しぶりで、

人との出会いを大切にしておられる姿勢が感じられました。

三里の道を歩いて通学

生まれは八代郡の竜北町です。水

川と砂川に挟まれた平野部の町です。

氷川は由緒ある川で、一説によれば

火の国の語源にもなったと言われて

います。その名の通り水が冷たく、

きれいな川でした。鮎は球磨川のも

のよりおいしいなんて言われています

してね。家の前にも小川が流れてい

て、ウナギやドンカツチョンなんか手

づかみでとれるほどいましたよ。戦

後一番がっかりしたのは、これらの

川がコンクリート張りになってしま

を歩いて通学していました。今元氣

でいられるのも、その頃歩いたのが

良かったんでしょうね。冬はあまり

寒いものだから、途中の道端でワ

ラ小積みのワラを燃やして暖まった

りしましたよ。なつかしい思い出で

す。

略歴紹介

内田健三（うちだ・けんぞう）

○大正十一年 熊本県 八代郡 竜北町 に生まれる。

○昭和二十八年 東大法学部卒業 共同通信社入社

○昭和四十六年 政治部長

○昭和五十年 論説委員長

○昭和五十七年 退社

○現在 政治評論家、政法大学教授、NHK解説委員、熊日客員論説委員、

「くまもと」二十一世紀懇話会委員。